

2026 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7 月期 生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 臨床心理学講座 (一般入試)	氏名									
「心理学基礎」 問題用紙・解答用紙 (2 / 2)	受験番号									採点

問2 不安への介入プログラムを行った研究に関する以下の記述を読み、各問いに答えなさい。

介入プログラムの効果を検証するためには、介入前後の不安を測定する必要がある。そこで、まずは⁽¹⁾不安を測定するための新たな尺度を作成した。次に、介入前の不安を測定するために、研究への参加に同意した 500 名を対象に、新たな不安尺度への回答を求めた。⁽²⁾そのうち、不安得点が高かった上位 20%の人たちを対象に介入プログラムを実施したところ、不安得点の平均値は介入前よりも介入後において統計的に有意に低いことが示された。

1. 下線部(1)について、この尺度の信頼性を検証するために、どのような方法があるか、考えられる方法を2つ説明しなさい。

2. 下線部(2)について、この結果は、介入プログラムの効果以外にどのような理由によって生じた可能性があるか、考えられる理由を2つ説明しなさい。



2026年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7月期 生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 臨床心理学講座 (一般入試)	氏名									
「臨床心理学専門」 問題用紙・解答用紙 (2/3)	受験番号									採点

問2 心理療法としての回想法に関する以下の問いに答えなさい。

1. 回想法はどのような心理療法か概説しなさい。

2. 高齢者に回想法を行う意義を、生涯発達心理学の視点から述べなさい。

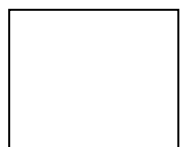


2026 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7 月期 生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 臨床心理学講座 (一般入試)	氏名									
「臨床心理学専門」 問題用紙・解答用紙 (3 / 3)	受験番号									採点

問3 ICF(International Classification of Functioning, Disability and Health:国際生活機能分類)に関する以下の問いに答えなさい。

1. ICF について説明しなさい。

2. 心理支援を行う際に、ICF の観点を取り入れる意義について述べなさい。



2026 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7 月期 生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 (一般入試)	氏名								
「英語」 問題用紙・解答用紙 (1 / 2)	受験番号								採点

I. 次の英文を読み、以下の設問に答えなさい。

著作権上の理由から以下 12 行省略

出典. Casasanto, D. (2009). Embodiment of abstract concepts: Good and bad in right- and left-handers. *Journal of Experimental Psychology. General*, 138(3), 351–367. を改変

問1 下線部(a)を和訳しなさい。

問2 下線部(b)を和訳しなさい。



2026 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7 月期 生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 (一般入試)	氏名									
「英語」 問題用紙・解答用紙 (2 / 2)	受験番号									採点

II. 次の英文を読み、以下の設問に答えなさい。

著作権上の理由から以下 10 行省略

注) regulatory effectiveness of support (RES): サポートの制御効果性

出典. Zee, K. S., Bolger, N., & Higgins, E. T. (2020). Regulatory effectiveness of social support. *Journal of Personality and Social Psychology*, 119(6), 1316–1358. を改変

問1 下線部(a)を和訳しなさい。

問2 下線部(b)を和訳しなさい。

